

## 編集後記

会員の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。ここに、京大土木会会報No.56をお届けいたします。本号の編集にあたり、会員の皆様からご寄稿をいただき、発行に至ることができました。皆様方の多大なるご支援・ご協力に、幹事一同、厚く御礼申し上げます。

平成30年度の総会において、戸田圭一新会長よりお話がございましたように、工学部地球工学科および地球系専攻では、大学の国際化を積極的に進めてまいりました。京土会においても、経済的援助が必要な留学生に対して、補助を実施しております。また、若手・学生会員の研修助成として、10名程度の学生に対して、海外研修や国際学会発表の旅費などを継続的に支援しております。国際コースへの奨学金寄付と合わせまして、会員の皆様方には深くお礼を申し上げます。

京土会では、Web名簿システムの導入や女性の会の試行など、新たな取り組みも始めております。名簿のWeb化につきましては、従前と比較して、ご不便な点多々あるものと存じます。今後も継続的に改良を施してまいります。会員の皆様の情報管理において必要なこととして、なにとぞご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、最近では、卒業生若年層の京土会離れが顕著になり始めております。中・長期的な京土会の持続と発展において、若年層の積極的な参加は、重要な課題であります。京土会への関心の喚起において、女性の会のような新たな試みが、その一助となる可能性がございます。このような新たな試みに対しましても、ご首肯賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様の周りにおられる若年の卒業生の方々に対しまして、京土会の意義や魅力をお伝えいただけますと幸いに存じます。

今後とも引き続き、会員の皆様のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様の益々のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

平成30年度 幹事

山田 忠史, 市川 温, 西村 文武